

山 行 報 告 書

山 名：蛭ヶ岳・丹沢		(神奈川県秦野市町村)
入山日：平成26年10月12日(日) 日帰り 帰宅予定日：10月12日		
プラン担当者 正：申 副：		概略図
参 加 者	L： 報： 記： 申	蛭ヶ岳 ⇔ 丹沢 ↑↓ 塔ノ岳 ↑↓ (大倉尾根) ↑↓ 大倉
	男1名、女 名、計1名	
最終打合せ： 月 日(火)		
雨天中止・順延の連絡： 月 日() 時までに(メール)で連絡。		
順延： 有無 月 日()		
記 録	集合時間： 午前6時	集合場所：
10月12日(日)	4:51 大宮発埼京線⇒7:17 大倉バス停	
	7:25 登山開始→10:08 塔ノ岳(休12分)→11:15 丹沢(休5分)→	
	12:35 蛭ヶ岳(休25分)→14:07 丹沢→14:55 塔ノ岳(休8分)→	
	16:50 大倉バス停	
	※上り5時間10分、下り4時間15分、計9時間25分(休憩50分込)	
食 装 糧 備 と	共同装備：	
	共同食：	
感 想 へ)	個人装備：ヘッドランプ、雨具、防寒衣、コンパス、地図、ツェルト、ケータイ	
	個人食：行動食、昼食	
感 想 へ)	2泊3日の縦走を計画している中、トレーニングを兼ねた登山を考えていて、もっとも地理に詳しい丹沢を選んだ。今まで日帰りは考えたことのなかった蛭ヶ岳だが、数年前とは違って日帰り登山を可能とする早朝バスの便ができていた。 台風の直前ということもあり、天気はずっと曇り。しかし、蛭ヶ岳に着く30分前からガスが取れたかと思ったら、ちょうど標高1,500mより上は、雲の上にいることが分かった。 標高1700m弱でありながら、いつもアルプスに負けない雲海を見せてくれる蛭ヶ岳は、とても素晴らしいと思っていたが、今日の雲海は中でもトップクラスであった。	

No1.雲のサンドイッチに挟まれた富士山



No2.標高 1,500 m 当たりを基準に、雲がくっきりと分かれている。



No3.雲の上に浮かんでいるアルプスを眺める。

